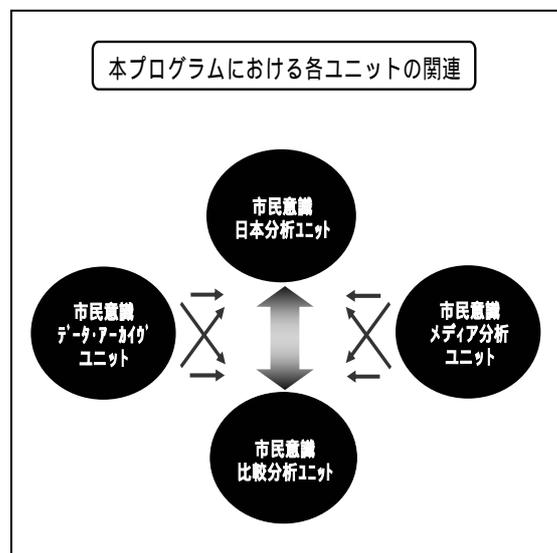


【分野名：社会科学】

大 学 名	慶應義塾大学
拠点のプログラム名称	多文化多世代交差世界の政治社会秩序形成
中核となる専攻等名	法学研究科政治学専攻
拠点リーダー氏名	小林 良彰

《拠点形成の概要》

近年、グローバル化の進行とともに多くの国家・社会において多文化間の衝突が顕在化している。こうした問題は、政治的指導者層の間だけで解決できるものではないため、多文化世界における市民意識の動態の生成と変化のメカニズムを解明し、多文化共生の方向を考えるために拠点を形成する。その将来像は、「多文化市民意識研究センター」の設置、諸外国に対して公開する「市民意識データアーカイブ」の拡



充、世界に向けた日本発の人的研究ネットワークである。研究実施計画：多文化世界における市民意識の分析とデータの拡充、多文化世界における対立・紛争要因を突き止め、同時に生じにくい条件の抽出を行う。多文化間の政治社会意識の差異、特に将来を担う世代と現在の社会を担っている世代とを比較し、21世紀の政治社会を展望する研究とする。教育実施計画：若手研究支援研究費を競争的に支給する。また、本拠点における調査研究に大学院生を参加させることで、市民意識調査・分析に関する実践的な教育指導を行なう。また研究成果を外国語で公表するために外国語の紀要を刊行するとともに国際学会報告の渡航費を補助する。以上の研究・教育実施計画を通して、市民の視点に立つ意識調査の世界的研究教育拠点となるとともに、グローバル・シビル・ガバナンスに関する世界最高水準の研究、教育、養成をする。